

別記様式第1号（第4条関係）

共催・後援名義使用承認申請書

年 月 日

洞爺湖町長 様

申請者 住 所

団 体 名

代表者名

印

下記の事業の実施について洞爺湖町の共催・後援名義の使用を承認されるよう申請します。

なお、私は、裏面の誓約事項について誓約し、洞爺湖町が必要な場合には、誓約事項について伊達警察署に照会することについて承諾します。

また、照会で確認された情報は、今後、私が洞爺湖町と行う他の契約における確認等に利用することに同意します。

記

- 1 事業名
- 2 事業の目的及び内容
 - (1) 目的
 - (2) 内容
- 3 共催者(後援者)の名称及び住所
- 4 事業の実施年月日 年 月 日()～ 年 月 日()
- 5 事業の実施場所
- 6 参加者(対象者)の範囲、参加見込み人数
- 7 事業実施の事務局(連絡先)の所在地・電話番号
- 8 町の担当課(共催の場合に限る。)
- 9 その他参考事項

※ 添付資料として事業の実施要領等を提出してください。

誓 約 事 項

- 1 自己又は自己の役員等は、次の各号のいずれにも該当しません。
 - (1) 暴力団（暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に規定する暴力団をいう。以下同じ。）
 - (2) 暴力団員（同法第2条第6号に規定する暴力団員をいう。以下同じ。）
 - (3) 暴力団員が役員となっている事業者
 - (4) 暴力団員であることを知りながら、その者を雇用・使用している者
 - (5) 暴力団員であることを知りながら、その者と下請契約又は資材、原材料の購入契約等を締結している者
 - (6) 暴力団又は暴力団員に経済上の利益又は便宜を供与している者
 - (7) 暴力団又は暴力団員と社会通念上ふさわしくない交際を有するなど社会的に非難される関係を有している者
 - (8) 暴力団又は暴力団員であることを知りながらこれを利用している者
- 2 上記1の(1)から(8)までに掲げる者が、その経営に実質的に関与している法人その他団体又は個人ではありません。
- 3 暴力団員及び暴力団関係事業者から社会通念上不当な要求又は契約の適正な履行を妨げる行為（以下「不当介入」という。）を受けた場合は、断固としてこれを拒否するとともに、洞爺湖町への報告及び伊達警察署への届出（以下「報告・届出」という。）を行います。また、下請負人等が暴力団員及び暴力団関係事業者から不当介入を受けた場合は、速やかに報告・届出を行うよう当該下請負人等に指導します。
- 4 この誓約に事実と相違することが判明した場合は、この契約が解除等のいかなる措置を受けても異議の申し立てをしません。また、これにより損害が生じた場合は、一切私の責任といたします。